

事業所名

在宅障害児（者）支援センター
多機能型事業所（放課後等デイサービス） きらら

支援プログラム

作成日

2024 年

10 月

1 日

法人（事業所）理念		個々の在宅障害児（者）をとりまく環境及び発達状況に応じた、安全かつ質の高い信頼される療育・支援に努めます。					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 在宅の重症心身障害児者や肢体不自由児，保護者のニーズに対応できるサービス提供体制の充実と専門性の向上に努める。 重症心身障害児者，肢体不自由児の人格・人権を尊重し，その立場に立ったサービスを提供する。 情報提供と十分な説明を行い，安心と信頼の支援に努める。 					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 食事、睡眠、排泄の援助。 発作の記録、家族への報告。 体調の変化、健康管理、異常の早期発見。 定時の導尿対応。 喘息や酸素濃度への留意。 食事時の姿勢や適正な食形態。 気管カニューレの抜去や呼吸状態の観察。 入浴時の身体チェック。 体温の調整。 呼吸状態の管理や気管切開部からの出血の留意。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境やペースに慣れ、生活のリズムを整える。 支持座位を促す。 興味、遊びの拡大を促し、自発的な運動へ発展するよう支援する。 SRCウォーカーでの歩行補助。 興味のある対象物で追視を促す。 マッサージによる筋緊張の緩和を促す。 活動意欲に合わせた歩行経験。 活動を通して上下肢の柔軟性が維持できるよう支援する。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動に参加し、興味や関心を増やしていく。 好き嫌いが表出できるような活動を提供する。 刺激的な活動を提供し、楽しみながら覚醒を促す。 興味を探る。 発達段階に応じた活動を提供する中で自発的な動きを引き出す。 好きな楽器の音と色を関連付けできるよう工夫する。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 活動等で職員や他利用者との関りが増えるよう配慮する。 意思表示をくみ取り、苦手なこと嫌なことを理解する。 好きな遊びを見つけ、気持ちを共有し信頼関係を築く。 興味を探ることで好きなものを共有し共感できるよう支援する。 日々の訴えや行動に目を配り変化に気づいて共有する。 関わりを深め安心して楽しく過ごせる場所を提供する。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 活動等で友達や職員との関りを積極的に図れるように配慮し、楽しい時間を共有する。 良い、悪いが区別できるよう、よくないことをした際は丁寧に伝える。 集団活動を提供しながらも本人の様子を観察し、無理強いはいしないよう配慮する。 					
家族支援		介助方法の連携 ・ レスパイト ・ 進路相談			移行支援		進路相談
地域支援・地域連携		学校との連携 ・ 他事業所との連携			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> WEB研修や伝達研修等の職場研修と園内実践発表会を充実させる。 課内研修などの機会を通じて、理論・技術だけでなく、福祉に携わる施設職員としての自覚と成長、モラルの向上に努める。
主な行事等		・ 花見 ・ 納涼会 ・ ハロウィン ・ クリスマス会					